

F.省工不設備

・本計算ファイルは**令和7年度**補助事業の申請時に活用するものである。電力の排出係数の更新等に合わせて改訂されるため、必ず**最新の計算ファイルを活用**することとする。

・入力する数値に関しては、必要に応じて計算ファイル内で表示されている小数点の位まで入力することとし、それ以下の小数点については四捨五入することとする。

事業者名	○×工業株式会社			
設置場所	事業による導入量			
区分	〒 362-0000 埼玉県 上尾市	△〇町1-1		
従来機器・システム名称	入れ替え	施設の新設、または設備の入れ替えではない場合は「新設」、機器・システムの入れ替えの場合は「入れ替え」を選択してください。		
導入する機器・システム名称	業務用空調機(メーカー 天井埋込カセット型 AAXXXXXXX)	導入する機器・システムおよび、その比較対象とする従来の機器・システムの名称を記載してください。		
導入量	業務用空調機(メーカー 天井埋込カセット型 BBXXXXXX)	※ 施設の新設、または機器・システムの入れ替えではない場合は、記載する必要ありません。機器・システムが複数ある場合は、計算ファイルを複数に分けてください。		
導入量	1	単位	台	その他の場合 記入してください(その他の場合)

①事業者情報を入力

②名称、メーカー、型番などを入力

③台数を入力

補助対象となる機器・システムの「導入量」を記入し、横のセルに「単位」をプルダウンから選択してください。単位の回答は選択式となっていますが、選択項目に適切な単位がない場合、「その他」を選択し、右側の入力欄に手入力で単位を記入してください。

法定耐用年数	6	[年]	法定耐用年数を記入
--------	---	-----	-----------

国庫庁が発表している耐用年数表を参考にして、法定耐用年数を整数で記入してください。不明である場合は、想定使用年数を記入し、右の選択肢において「想定使用年数を記入」を選択してください。

導入量当たりのCO2削減量(CO2削減原単位)

事業開始前のベースラインとなる年間エネルギー消費量を記載してください。	事業開始後の年間エネルギー消費量を記載してください。
-------------------------------------	----------------------------

エネルギー 種別	年間エネルギー消費量			排出係数		年間CO2削減量		年間CO2削減原単位	
	導入前	導入後	単 位						
商用電力	4,288	2,753	kWh/年	0.438	kgCO2/kWh	672	kgCO2/年	672.3	kgCO2/年/台
都市ガス	0.00	0.00	Nm³/年	2.27	kgCO2/Nm³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
輸入一般炭	0.00	0.00	kg/年	2.33	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
LPG	0.00	0.00	kg/年	2.99	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
LNG	0.00	0.00	kg/年	2.79	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
灯油	0.00	0.00	L/年	2.50	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
A重油	0.00	0.00	L/年	2.75	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
B・O重油	0.00	0.00	L/年	3.10	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
揮発油(ガソリン)	0.00	0.00	L/年	2.29	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
軽油	0.00	0.00	L/年	2.62	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
ジェット燃料	0.00	0.00	L/年	2.48	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
水素	0.00	0.00	Nm³/年	0.00	kgCO2/Nm³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
その他1	0.00	0.00	●/年	0.00	kgCO2/●	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
その他2	0.00	0.00	■/年	0.00	kgCO2/■	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台
削減原単位[kgCO2/年/台]								672.3	kgCO2/年/台

⑥下記⑤で計算した値
を入力

⑦削減率%を計算して
申請書へ入力
(計算式) (導入前-導
入後)÷導入前×100

所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、その他の項目にエネルギー種の名称を記載し、導入前後の年間エネルギー消費量と排出係数を記入してください。水素については、初期値は0としています。可能な範囲でライフサイクルでの排出係数を記入してください。

稼働負荷・活動量	冷房800時間、暖房640時間	導入前後における機器・システムの業務負荷・活動量(稼働時間、稼働率等)と設定根拠を記載してください。
稼働負荷・活動量の設定根拠	冷房:6月～10月(5か月間) 20日/月 8時間/日・・・800時間 暖房:12月～3月(4か月間) 20日/月 8時間/日・・・640時間	
排出係数の設定根拠		所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、設定根拠を記載してください。

④稼働時間を入力

導入前の年間エネルギー消費量の算出方法を「従来設備・施設の実測データ」、「従来設備・施設のパフォーマンスより推計」、「仮想設備（現在の平均的な販売設備）のパフォーマンスより推計」より選択してください。なお、施設全体の電力量から按分している場合、「従来設備・施設の実測データ」を選択してください。

従来設備	エネルギー消費量の算出方法	従来設備・施設の性能より推計	従来の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。 「エネルギー消費量の算出方法」において「従来設備・施設の実測データ」を選択した場合、「エネルギー消費量の設定根拠・引用元」を記載する必要はありません。
	性能	定格消費電力・・・冷房2.8kW、暖房3.2kW (冷房:2.8kW*800h=2,240kWh、暖房:3.2kW*640h=2,048kWh)	
	性能値の設定根拠・引用元	〇×会社のカタログより	
導入設備	性能	定格消費電力・・・冷房2.05kW、暖房1.74kW (冷房:2.05kW*800h=1,640kWh、暖房:1.74kW*640h=1,113kWh)	導入後の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠を記載してください。
	性能値の設定根拠・引用元	〇◇会社のカタログより	

(注) (〇〇製造社用)

⑤機器ごとの定格消費電力で冷房・暖房ごとに計算
(計算式) 定格消費電力×稼働時間

年間CO2削減量	672	[kgCO2/年]	＝	年間CO2削減量	0.67	[tCO2/年]
累計CO2削減量	4,034	[kgCO2]	＝	累計CO2削減量	4.03	[tCO2]

事務局確認用

従来のエネルギー消費量の算出方法		従来設備・施設の性能より推計	
法定耐用年数	6年	法定耐用年数を記入	
区分	入れ替え		